



## 新理事長就任のあいさつ

### 政治社会学会理事長 三石博行

文理融合型・総合的政策研究を課題にした政治社会学会は、2010年3月に設立し、今年(2016年12月)で約8年弱を迎えようとしています。初代の荒木義修先生、第2代目の原田博夫先生、第3代目の新川達郎先生に引継ぎ、今回、私が理事長就任を理事会から任命を受けました。2年間と言う期間で、この学会に貢献できる課題は極めて限定されていると思います。しかし、この2年間で、この学会が、現在、最も必要としている課題に取り組まなければなりません。

学会は多くの分野から研究者、議員、実務家、起業家、市民と幅広い人材が集り、幅広い分野の研究報告がなされています。その意味で、総合的政策研究を進める上で、幅広い分野の専門家、異なるステークホルダーとのコミュニケーション形成の場を提供できることが、この学会の利点となります。と同時に、それはこの学会の弱点、焦点の定まらない研究会と言う問題にも繋がります。

また、私たちの学会は、学会活動の在り方を変革して来ました。第4回政治社会学会研究大会から、グループディスカッション (G.D.) を取り入れ、その後、

研究大会は勿論のこと、関東政治社会学会、関西政治社会学会の研究会を含め、参加型の研究会活動が活発に行われています。G.D.を取り入れた研究会を更に充実させる方法を考えなければなりません。

また、昨年は関東政治社会学会で3回の研究会、関西政治社会学会では7回の研究大会、3回の共催講演会・研究会、研究大会では日韓ジョイントカンファレンスを含め4セッションの研究会が行われ、素晴らしい研究発表が行われました。各研究会への参加者は多くはありませんが、それらの研究会での報告はどれを取っても素晴らしいもので、こうした政治社会学会の研究資源をより広くより多くの人々に活用してもらうためのオンラインサービスシステムを構築する必要があります。ホームページの刷新や新しいオンラインサービスを開発しなければなりません。さらに、それらの研究資源が、大学や社会での教育資源として活用されるための学会活動発信機能を開発しなければなりません。

更に、総合的政策研究活動の場として社会貢献できる政治社会学会の機能の開発が必要です。それは、総合的視点に立ちながらも個別政策分野に特化した研究活動の場を形成する学会機能の開発を企画することを意味しま

す。学会の会員の皆様が、自分の専門分野の研究活動をより豊かなものにするために、これまで個別課題分野で組織されてきた伝統的な学術団体の組織から、個別分野での幅広い学際的研究活動・研究交流を可能にするため学会機能を開発しなければなりません。

また、政治社会学会は、大学研究者を中心とした学会活動ではありますが、より社会的実践活動にコミットメント出来る学会へと、つまり、高度科学技術文明社会・高度知識社会での新しい学会の在り方を模索する必要があります。例えば、官庁、地方行政の専門家（職員）、シンクタンク、企業、NPO や NGO の専門家、政策参加運動を担っている市民団体や市民が参加していく、参加できる学会に変革する必要があります。

以上の多くの課題を抱え、2017年が始まっています。ここ2年間に、それらの全ての課題を解決することは出来ません。しかし、少なくとも、学会会員、理事の皆さまとともに、問題を共有し、その解決の方向に関して、話し合うことは出来るのではないかと思います。

事務局のアドレスができました。

[2009aspos@gmail.com](mailto:2009aspos@gmail.com)

今後情報発信などで使用していく予定です。

## 専門研究部会設置のお知らせ

新理事長体制発足に伴い、新たに研究部会が設置されました。これは、既存の個別分野の細分化した学問研究では現実の社会問題の実践的な解決手段や合理的解が見つけないという見解から、テーマ別に幅広い学際的研究活動・研究交流を可能にするために設置されました。学会員が自分の研究課題で、共同研究のみならず、より幅広い近接専門分野(広域専門分野)の研究者と交流する場として活用していただきたいと考えております。

### 部会の特徴

#### ①どなたでも参加可

専門研究部会は他の関連学会や研究会、シンクタンクの研究者と研究活動ができる機関として活用していただくことを想定しているため、部会には学会員問わず様々な人にご参加いただけます。参加希望者は事務局にご連絡ください。

#### ②会員の方であればどなたでも部会設置可能

設置に際しては事務局までご連絡ください。

部会では、メールを利用した情報交換のほか、研究会等での企画や年報掲載等、既存の学会システムを利用して活動していただくことも可能です。是非皆様のご研究にお役立てください。

現在のところ設置されている専門研究部会

1. エネルギー政策研究部会
2. 公益資本主義部会

## 政治社会学会支部報告

### 関東政治社会学会

#### 関東政治社会学会（ASPOS, Kanto）第18回研究会

2016年7月30日に、専修大学神田キャンパスにて第18回研究会が開催された。「日本の近代化～グローバル（アジア・現代的）な視点から～」と題した今回の研究会では、下記の3名より報告が行われた。

報告1：永江雅和（専修大学経済学部教授）「近代日本の旅行産業」

報告2：永島剛（専修大学経済学部教授）「公衆衛生」

報告3：山口政幸（専修大学文学部教授）「描かれた新聞－松本清張の「新聞」小説／「紙の牙」などから」

異分野を専門とする研究者達の報告であったが、全く異なる研究アプローチ方法等に対し、出席者からは驚きの声が聞かれた。また、非会員の方も複数来場され、活発な議論が行われた。



なお、関東政治社会学会では第19回研究会を来る2017年6月3日（土）午後・専修大学神田キャンパスで開催予定である。

関東政治社会学会会長 原田博夫  
（専修大学）

### 関西政治社会学会

#### 2016年下半期活動報告

##### 第4回関西政治社会学会研究会/同志社大学人文科学研究所 共同研究

2016年7月16日（土）、同志社大学烏丸キャンパス志高館で、第4回目の共同研究会が開催された。研究会には約25名の参加者があった。研究会は2つのテーマについて行われた。1部テーマ「市民参画型社会の構築に向けて」では、三つの研究報告がなされた。その一つは、特定非営利活動法人 市民がつくる政策調査会（市民政調）事務局長の小林幸治氏が「市民による政策提案活動と法制化の取組み事例—市民政調の活動から」、二つ目は、徳島大学の小田切康彦氏による「地方自治体における協働政策のインパクト」に関する研究報告で、三つ目は、京都府立農業大学校長（龍谷大学名誉教授）の河村能夫氏の「農大から見てきた日本農村のすがた - 参画型社会の原型としての農村コミュニティ -」と題する報告であった。その後、参加者を入れたグループ・ディスカッションが行われた。2部自由セッションでは、日本未来研究センター代表の山口薫氏が「Head and Tail of Money Creation and its System Design Failures-Toward the Alternative System Design -」に関する報告を行った。そして、このセッションでも、参加者を入れたグループ・ディスカッションが行われた。



写真1 市民政調事務局長小林幸治氏の研究報告

**第1回 KMC イノベーション研究会・関西政治社会学会  
共催講演会『産業ツーリズムと地域再生』**

2016年8月27日(土)、同志社大学烏丸キャンパス志高館で、京都大学機械系同窓会(KMC)イノベーション研究会と関西政治社会学会が共催し講演会「産業ツーリズムと地域再生」が開催された。講演会では、NEDO 関西支部支部長 NPO 法人ツーリズム研究機構コーディネータの高木英彦氏の「産業ツーリズムを通じた地域イノベーション」と題する講演と、同志社大学大学院教授(政治社会学会理事長)の新川達郎氏の「これからの自立的な地域再生と政策実現のための環境づくり」と題する講演が行われた。その後、講演会場での参加者を入れたディスカッションが行われた。



写真2 NPO 法人ツーリズム研究機構コーディネータの高木英彦氏の報告

**第5回関西政治社会学会研究会/同志社大学人文科学研究  
所 共同研究会**

2016年7月23日(土)、同志社大学烏丸キャンパス志高館で第5回共同研究会が開催された。1部テーマ「食文化-京料理を語る-」では、大学共同利用機構法人人間文化研究機構理事の佐藤洋一郎氏の司会で進められ、京都の料亭、招狸庵の店主松本隆司氏から「和食・京料理を語るうーちよっと舌がすべってしまいましたが一」と題するお話があり、その後参加者をまじえ、松本さんを囲んでのディスカッションが行われた。2部テーマ「イギリスのEU離脱をめぐる課題 -何が問われているか-」では2の講演と1つの研究報告が行われた。最初の講演は、同志社大学法学部教授(日本EU学会理事)の鷲江義勝氏による「イギリスのEU離脱の背景と影響」で、二つ目の講演は近畿大学医学部講師(医学博士)、榎木英介氏の「イギリスのEU離脱で科学技術はどうか?」であった。関西政治社会学会の三石博行氏から「国家としてのEUの課題 -イギリスEU離脱を巡る国民投票の結果とその評価と解釈-」と題する研究報告がなされた。そして、このセッションでも、参加者を入れたグループ・ディスカッションが行われた。



写真3 鷲江義勝氏の報告

## 第 6 回関西政治社会学会研究会/同志社大学人文科学研究 所 共同研究会

2016年10月15日(土)同志社大学烏丸キャンパス志高館で、第6回共同研究会が開催された。1部 テーマ「EU問題を正しく理解するために」では2つの講演が行われた。久留米大学法学部教授の児玉昌己氏は「英のEU離脱の衝撃 現状、意味、理由」と題する講演を行った。また、阪南大学名誉教授(元学長)の辰巳浅嗣氏は「Brexit EUの安全保障・防衛政策に与える影響」に関して講演された。講演会の後、参加者を入れたグループ・ディスカッションが行われた。2部のテーマ「日中関係の改善のための現在の中国の正しい理解とは」では2名の講演が行われた。北京外大北京日本学中心客座教授の杉本勝則氏は「私の体験的政治論とマスコミの中国報道-中国を見誤らないための注意事項-」と題する講演を行い、立命館大学・社会システム研究所上席研究員の松野周治氏は「中国経済の減速をどうみるか-中国東北(遼寧省)を中心に-」と題する講演をおこなった。セッションの最後は、いつものように、参加者を入れたグループ・ディスカッションが行われた。



写真4 児玉昌己氏と辰巳浅嗣氏の報告

## 第 7 回関西政治社会学会研究会/同志社大学人文科学研究 所 共同研究会

2016年12月15日(土)同志社大学烏丸キャンパス志高館で、第7回共同研究会が開催された。この研究会では、坂田雅子氏(ドキュメンタリー映画監督)が作成した映画『わたしの、終わらない旅』の上映を行った。これまで『花はどこへいった』『沈黙の春を生きて』で世代を超えた枯れ葉剤の被害を描いてきた坂田雅子監督が新たに選んだテーマは「核」問題であった。被曝・核兵器と福島原発事故・原発という二面性を持つ核エネルギーの歴史を辿る旅を通じ、数十年前から亡き母が続けていた反原発運動の意味に迫りながら坂田監督が、改めて気づいた核問題をドキュメンタリー映画にした。上映後、参加者を囲んだ熱い討論が行われた。



写真4 坂田雅子氏



写真5 坂田雅子氏と新川達郎氏

## 会費納入のお願い

日頃より、当学会の運営に対しまして、ご支援・ご協力いただき厚く御礼申し上げます。当学会の活動は会員の皆様方の会費と寄付に支えられております。当会の活動も漸く軌道に乗って参りましたものの、今後、活動をさらに強化していくために、会費の納入をお願い申し上げます。既に納入済みの際にはご容赦ください。よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

原則として、入会申込書記載の所属機関宛とさせていただきますが、他住所への郵送を御希望の際は、その旨お知らせ下さい。また、納入の際にはお名前のみのお入力にてお願い申し上げます。なお、会費納入状況につき不明の方は、imamura@waseda.jp までお問い合わせ下さい。

【振込み先】 三菱東京 UFJ 銀行 高田馬場支店

普通 0126184

政治社会学会事務局長 今村浩

(セイジシャカイガツカイジムキョクチョウ イマムラヒロシ)

政治社会学会事務局

## 編集後記

2017年1月も終わりに近づき、大変遅くなりましたが、2016年6月から12月までの政治社会学会の活動報告や会員からの便り、会員の学術や社会活動の報告を紹介するASPOS Newsletter No7(2017年1月31日発行)を皆さまにお送り致します。2017年から川野徳幸先生を中心にして広報委員会の活動がなされます。広報委員会では、これまでの課題である政治社会学会ホームページへの充実や改良等に努める予定です。そして、これまで毎回のニュースレター発行および全ての広報活動の実務的作業を担われています中村知子先生(事務局長)に深謝いたします。

広報委員会委員長 三石博行

広報委員会委員長 三石博行  
ASPOS Newsletter [政治社会学会 (ASPOS) 会報]  
No. 7 (2016年6月25日発行)  
発行人：三石博行 (理事長)  
編集人：川野徳幸 (広報委員長)